



投稿フォトギャラリー

撮影者 撮影日 撮影場所

大寒のはばたき
撮影者 岡田敏行さん 撮影日 平成27年1月
撮影場所 明神三丁目



瀬戸の多島美

撮影者 西原良典さん 撮影日 平成27年1月
撮影場所 筆影山(須波町)



川霧

撮影者 元久保一夫さん 撮影日 平成26年12月
撮影場所 糸崎四丁目



主役の出番

撮影者 武田大輔さん 撮影日 平成27年2月
撮影場所 東町三丁目

投稿写真を募集

テーマ ～みはらの四季、みはら再発見、みはらの新たな観光スポット～

応募期限 5日(木)(必着)
応募資格 市内に在住か在勤・在学の人
募集枚数 1人1枚
選考 秘書広報課で選考
※投稿写真の著作権は市に帰属します。

※投稿写真は返却しません。
※広報誌で紹介できなかった写真は、市ホームページへ掲載することもあります。
申し込み 郵送またはEメールで、写真データか写真(L判サイズ)と、①撮影

者名②住所・電話番号③撮影日④撮影場所⑤作品名を秘書広報課(〒723-8601港町三丁目5番1号 ☎0848-67-6007 ⑤hishokoho@city.mihara.hiroshima.jp)へ



▲避難所生活を体験学習する二中学生

平成19年に中之町で5つの自主防災組織が一齐に設立され、第19回防災まちづくり大賞の消防庁長官賞に輝きました。今年度、全国で同大賞受賞は19団体です。

「将来、災害から身を守る知識を習得してほしい」と防災教育の重要性を語るのは、中之町下町内会「防災会」会長の竹原茂さん。3年前から第二中学校と合同で防災教育や訓練を行なっています。

中学校と連携し、防災力向上

中之町下地区合同で防災訓練などを実施してきました。その中で、実感したのが高齢化。災害が起きたときに若い人の力を借りることが必要と感じた竹原さんは、避難所となる第二中学校に協力を要請。合同で開催した防災講演会では、被害をできるだけ小さくする「減災」や地域での助け合い「共助」などをともに学びました。また、避難経路や地域の危険箇所を確認する「まち歩き」にも生徒は参加。それが生かされた地域防災マップは防災会が作成し、下町内会の全戸に配布。町内会長も務める竹原さんは「防災は普段からの地域のつながりが大切」と町内会への加入も呼びかけます。防災教育に参加した中学生からは「自分たちができることは積極的に協力したい」とうれしい声も届いています。



さまざまな分野でがんばる、キラリと光る人や活動を紹介します。



中之町下町内会防災会 会長 竹原茂さん

第19回 防災まちづくり大賞

表彰状